

令和5年度第2回安曇野市文書館運営審議会 会議概要

1	会議名	令和5年度第2回安曇野市文書館運営審議会...
2	日時	令和5年11月16日木曜日 午後2時から午後3時
3	会場	安曇野市役所本庁舎3階 会議室304
4	出席者	細川委員、唐木委員、小宮山委員(リモート)
5	市側出席者	橋渡教育長、三澤課長、逸見係長、平沢文書館長、松澤主任、高橋主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和6年1月5日

会議事項等

○会議の概要

- 1 開会
- 2 課長あいさつ
- 3 協議

(1) 令和5年度事業中間報告について

事務局 ・資料1について説明

委員 ・空家所有者の文書についての今までの取り組みの中で事例があれば紹介をしていただきたい。
 ・市誌編さん事業のタイムスケジュールがあれば、お示しいただきたい。

事務局 ・令和3年度から空き家対策の取り組みは行っているが、今まで問い合わせの事案はない。

事務局 ・市誌編さんのスケジュールだが、民俗部会にかかりきりになっており全体的なスケジュールが確定しきれていない。

民俗部会について、一応今後のスケジュールとして計画を立てている。

令和5年度中は豊科地域の資料編の編さんを行っていく。その次は、令和5年度から令和6年度にかけて、明科地域について行っていく。それから、同じく令和5年度末から6年度にかけて三郷地域の調査執筆を行う。穂高地域は令和6年度の後半から令和7年度まで、堀金地域は令和7年度から令和8年度までということで一応計画は立てている。

・市誌編さん民俗部会調査員がそれぞれの都合で抜けられたりしており、新しい委員を選ばないといけない。

11月20日月曜日に民俗部会が行われるが、もう一度スケジュールの見直しを行いたい。

・民俗資料編を作った後に、本編を作るつもりである。

本編には、昔からの習俗はもちろん現代社会の変化、そしてコロナ禍によって民俗がどう変容したかというところを取り上げたい。

・本編が終わったら、子ども向けの民俗編も出るように計画している。

・市誌は、まずPDF化してインターネット等デジタル上で公開する予定である。本が欲しい方は、注文を取って本を作るという風に計画をしている。

委員 ・行政文書の移管のスケジュールは、決まっているのか。また、移管が遅れると公開に影響が出るのか。

事務局 ・例年公文書移管は、選別作業の始まる9月頃から冬の12月頃にかけて移管されるのが多い。

・今年度の傾向を見てみると、選別に関しては各課順調に早めに出してくれるが、移管になると遅くなる傾向にある。

今のところ催促はしていないが、あまりにも遅いようであればこちらから声をかけたい。

・受け入れた移管文書はなるべく早く登録して、順次公開している。

委員 ・各事業課担当課によっては、移管文書の量に格差があると思う。

締め切りを示し、期日を守っていただくようお願いしていく必要がある。

・文書保管の重要さの認識が担当職員によって変わってくる。重要文書の判断に困る職員もいると思う。担当職員向けにマニュアルを作成する等、担当職員に指導してほしい。

委員 ・自分も区長をやっており、文書館から区有文書についてのアンケートがあったときに探したがなかった。区の公民館や集会所、役員をやった方が自分で持っているものもあるので、精査していただけたらありがたい。区長も2年に1回変わるの、次年度の区長会でも呼びかけを行ってほしい。

(2) 令和5年度事業中間報告について

事務局 ・資料2について説明

委員 ・空家対策としてチラシを配布してご協力いただくのも一つの方法であると思うが、何か一つの事例を作らないと先へ進まないと思う。来年度一つ事例を作ること为目标にしたらいかが。文書館の事業として、一つやってみればノウハウができると思う。一つできそうなところをピックアップして、空家の文書収集に取り組みたらどうか。

委員 ・博物館、図書館連携について、安曇野市新博物館構想の中で文書館が具現化して5年経った。この文書館の在り方を10年20年先を見越した構想に着手していくことも大事ではないか。

事務局 ・2年間、空家対策チラシ配布を行ってきたが、相談は0件という実績である。今回いただいた意見を参考にし、検討していきたい。

事務局 ・長期計画は、まだ考えていなかったところである。

博物館施設全体については、文書館以外博物館構想がなかなか進んでいないため、改めて実現化に向けた検討を進めたいと考えている。

・文書館の10年20年という、この先何が大切になるかということではやはり市民益というところが鍵になるのではないか。

・安曇野市は、博物館にしても文書館にしても住民の方と距離が短いのではないかと考えている。今も学校資料の収集や学校への出前講座をやっているが、それらを強化しても良い。古文書講座も非常に人気がある。そんな中で地域の資料に対する市民の皆さんの関心を深めていくことも文書館としての役割かと思う。

・市誌編さんの拠点の一つとして、資料の収集もやっつけていかなければならない。長期的な視点についても、そういったことも含めて検討していければと思う。

委員 ・空家の文書についてはかなり手間がかかると思うが、市全体としての空家はとても大きな問題である。1事例を作るのに数年かかるかもしれないが、安曇野市文書館のノウハウにもなる。

・先ほど事務局のお話にあった安曇野市の規模だからこそというのも素晴らしい着眼点なので、形になったものが見たい。

委員 ・来年度の企画展で区有文書の紹介をするとのことだが、市民向けに区有文書をいくつか紹介するという認識でよろしいか。

事務局 ・おっしゃる通りである。

委員 ・私も地域資料の調査をやっており、調査した地域の公民館で展示や資料の紹介を行った。遠くまでは行けないが公民館でやってくれるなら行くという方が結構来られたので、興味を持たれる方がたくさんいらっしゃる実感した。地域の公民館や集会場などで地域に関する文書を1、2点紹介することができれば、地域の方に興味を持っていただいて意識も高まるのではないか。そういった講座もぜひやっていただきたい。

・空家の話だが、空家のチラシを見ても古文書に該当するものが何かイメージがつかないのではないかと思う。また、空家のチラシに文書の調査とあるが、何するのかわからず、不安もあり相談しづらいところもあると思う。具体的に調査方法などを明記すれば、安心して相談もしやすくなるのではないか。

事務局 ・いろんな団体の方から、出前講座のリクエストをいただいている。

・お預かりした該当地区へ出向いて、該当資料について紹介することはすごく大事だと思う。前期企画展について、今いただいたアドバイスを来年度の計画に生かしていきたい。

委員 ・毎年現状の空家件数や状況など、区長を通じて空家対策室で把握している。文書館でも連携を図ってほしい。

4 閉会

以上